

2015-25-1 七面鳥の脾臓

平野慎二

提出機関：

University College Dublin, Ireland

症例：10週齢、雄、七面鳥 (*Meleagris gallopavo*)

病歴：1日齢で導入された肥育用七面鳥3羽中1羽が突然死した後、2週間に残りの2羽も死亡

肉眼所見：

- 体格良好
- 重度び慢性出血性腸炎
- 脾腫、 $\Phi 0.5\sim 3\text{mm}$ の白色、円形から不定形の多病巣性退色斑

臨床検査結果：

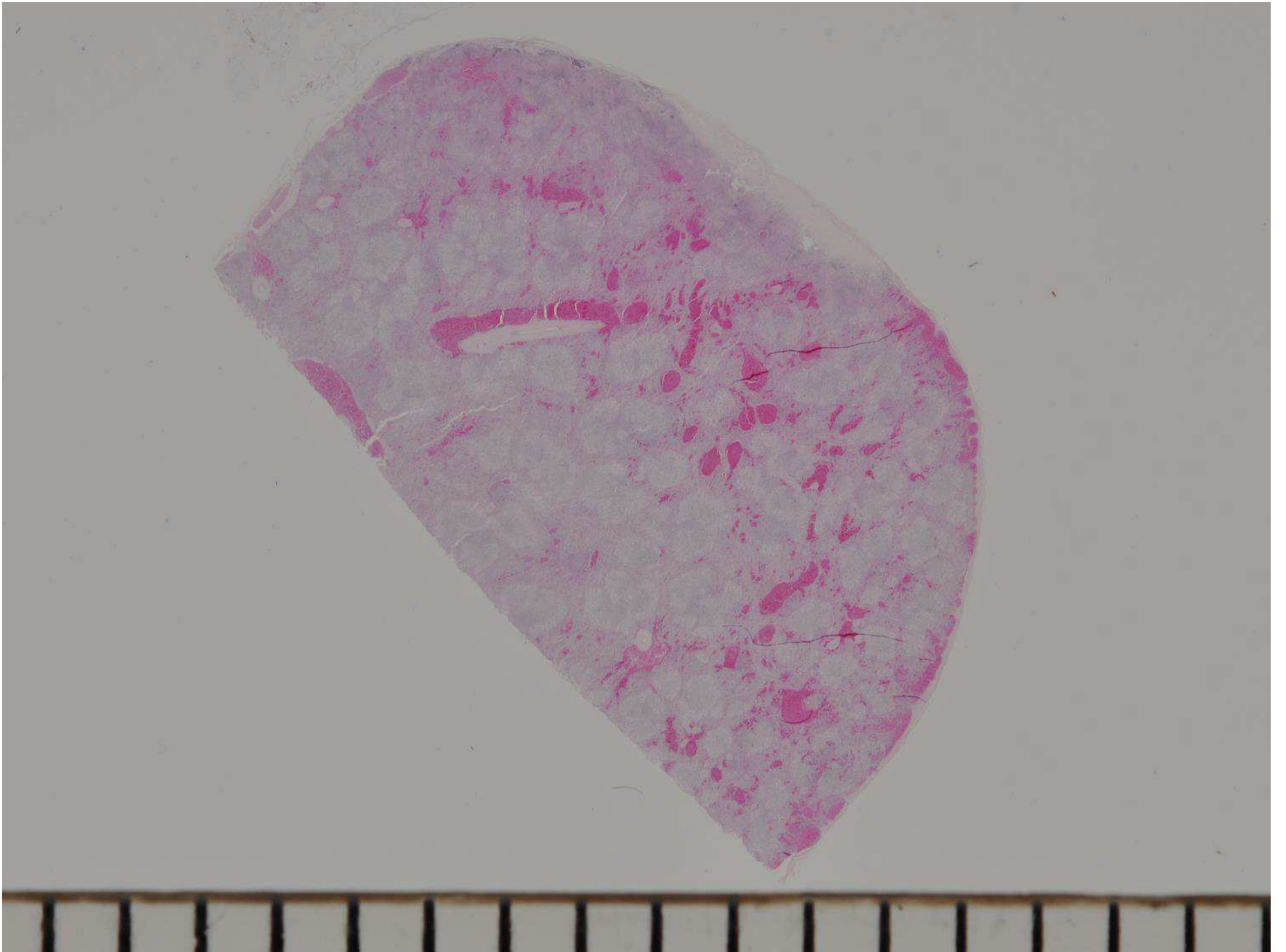
- 有意菌分離陰性
- PCR：脾臓から七面鳥出血性腸炎ウイルス (THEV) 遺伝子陽性

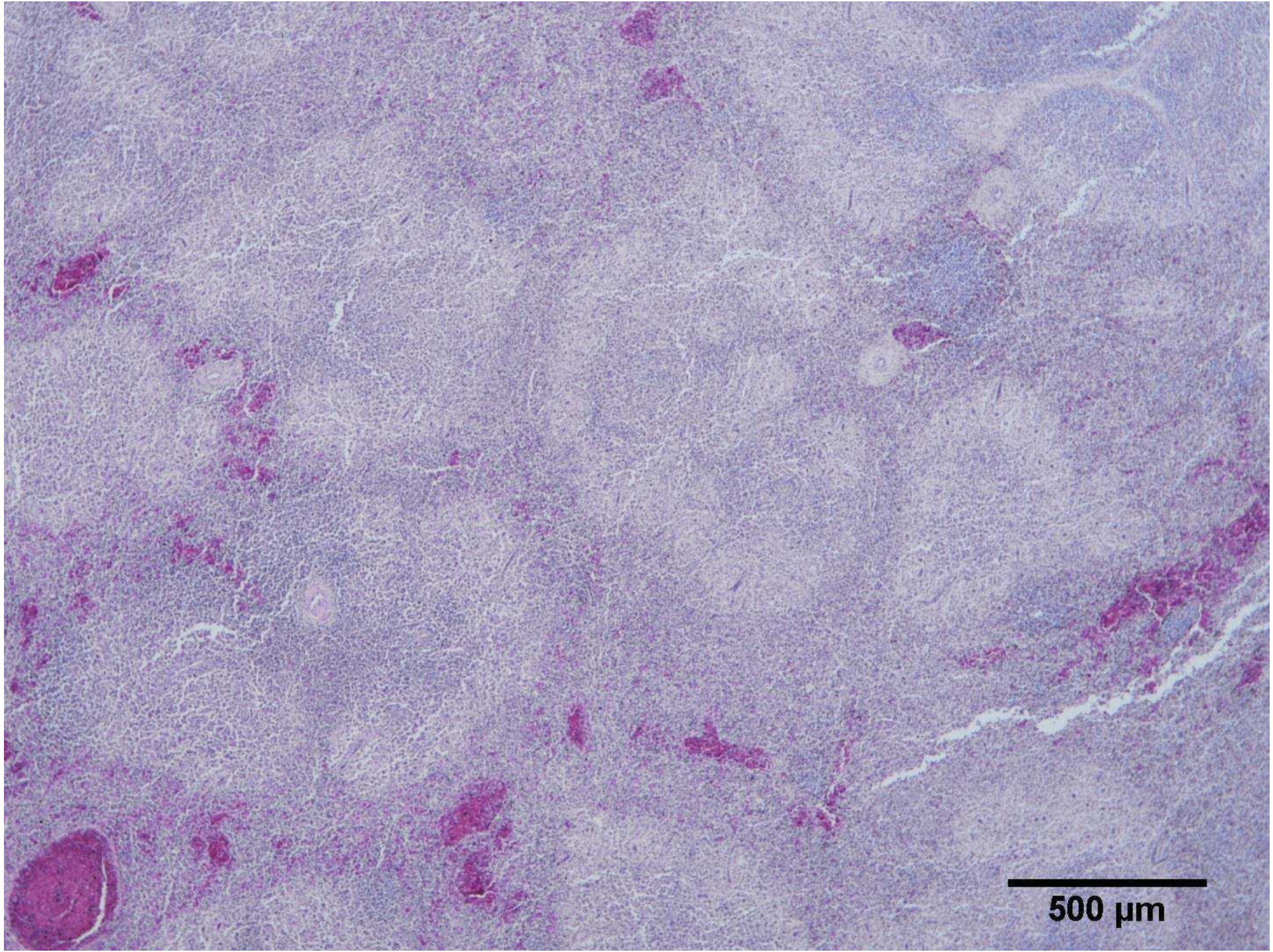


The Merck Veterinary Manual より
<http://www.merckvetmanual.com/mvm/index.html>

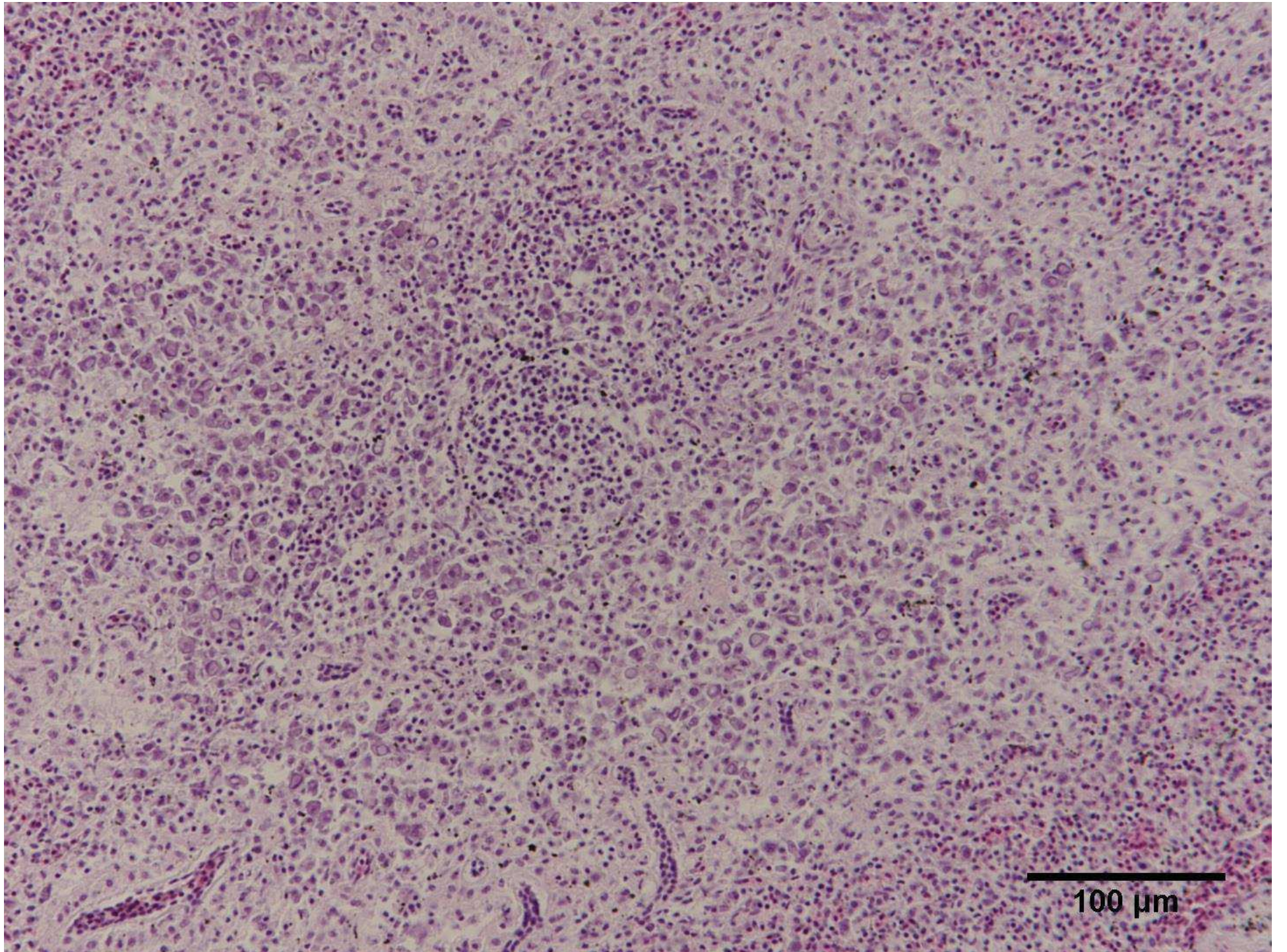


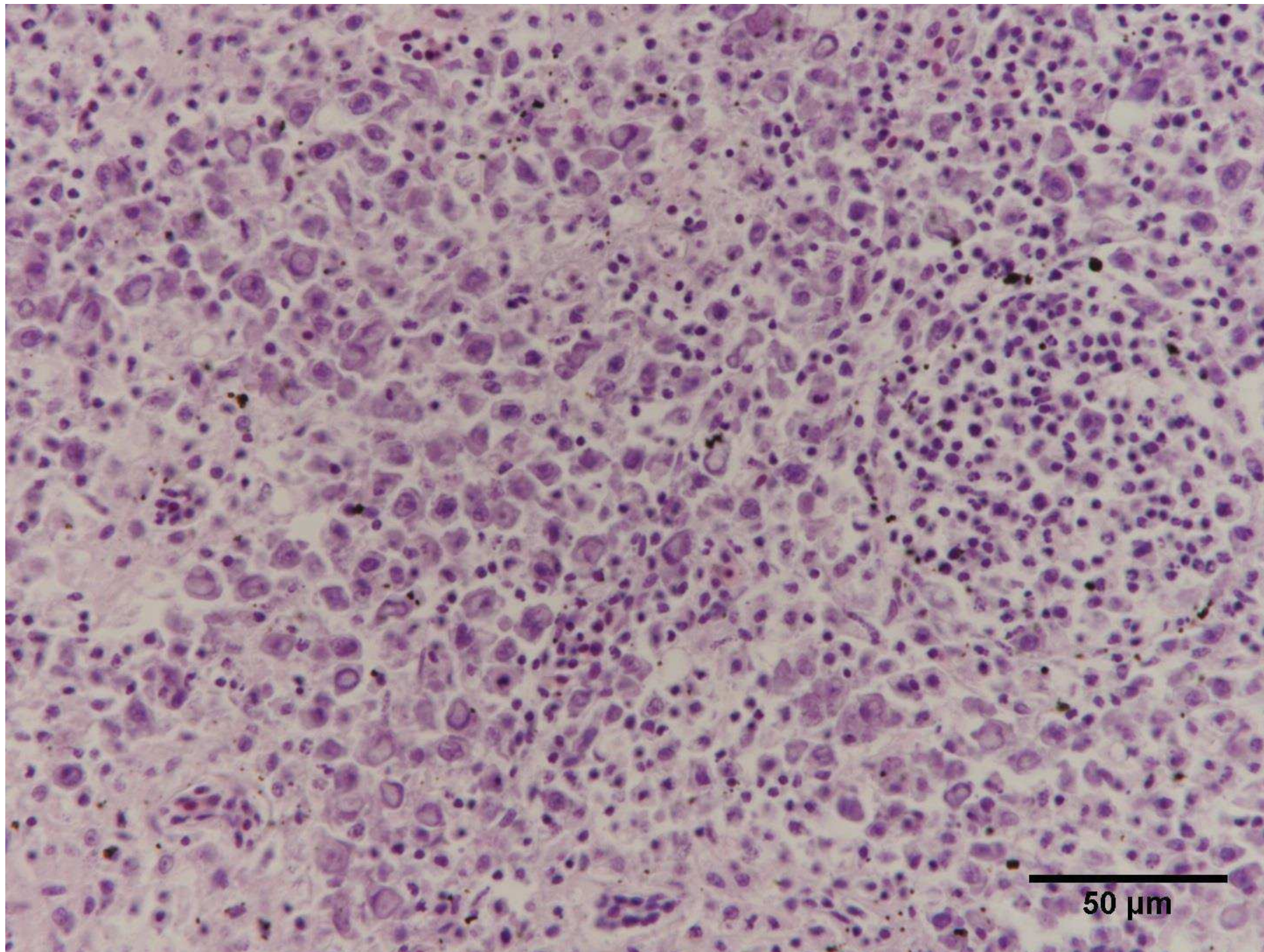
The Merck Veterinary Manual より
<http://www.merckvetmanual.com/mvm/index.html>

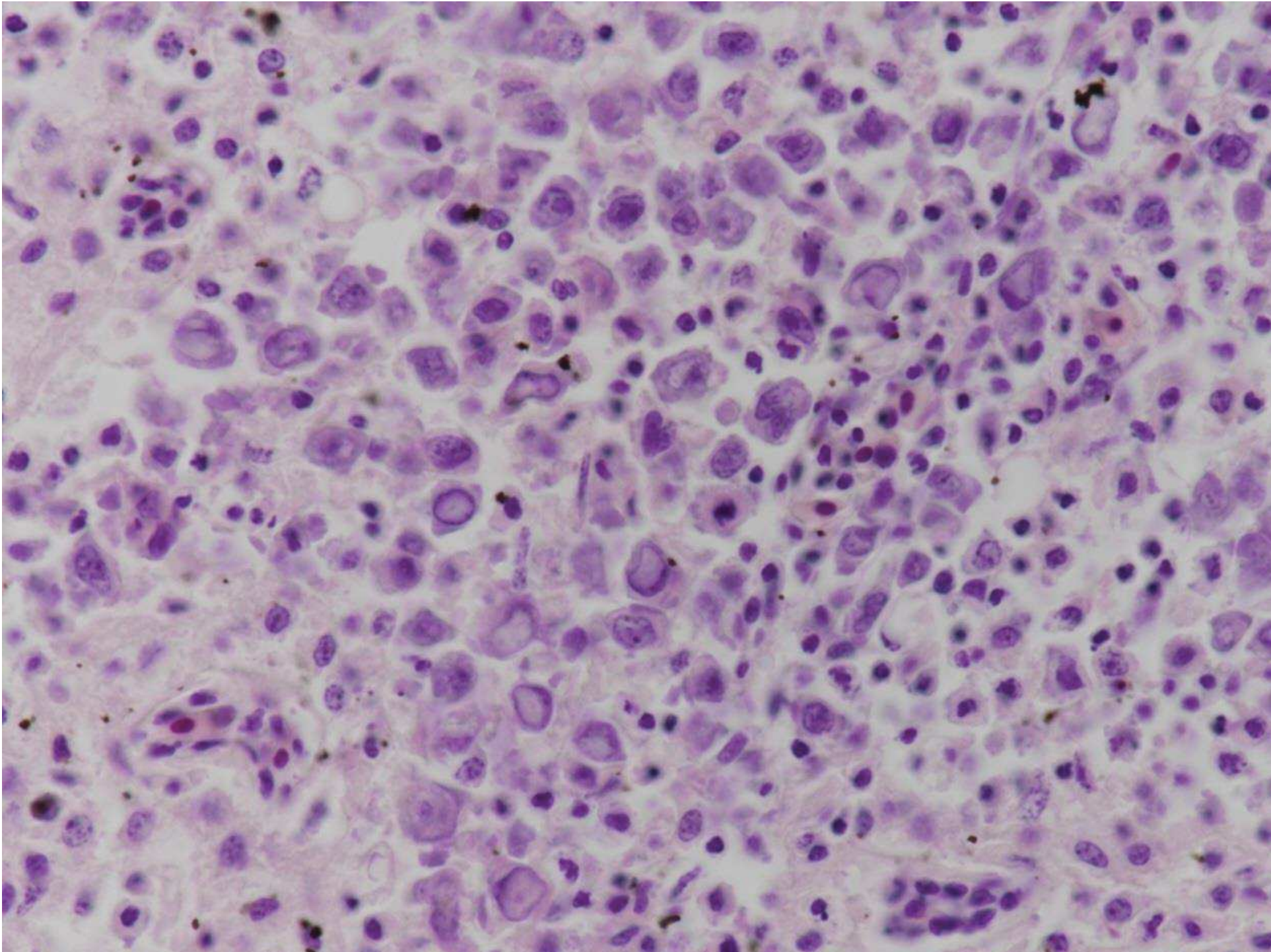


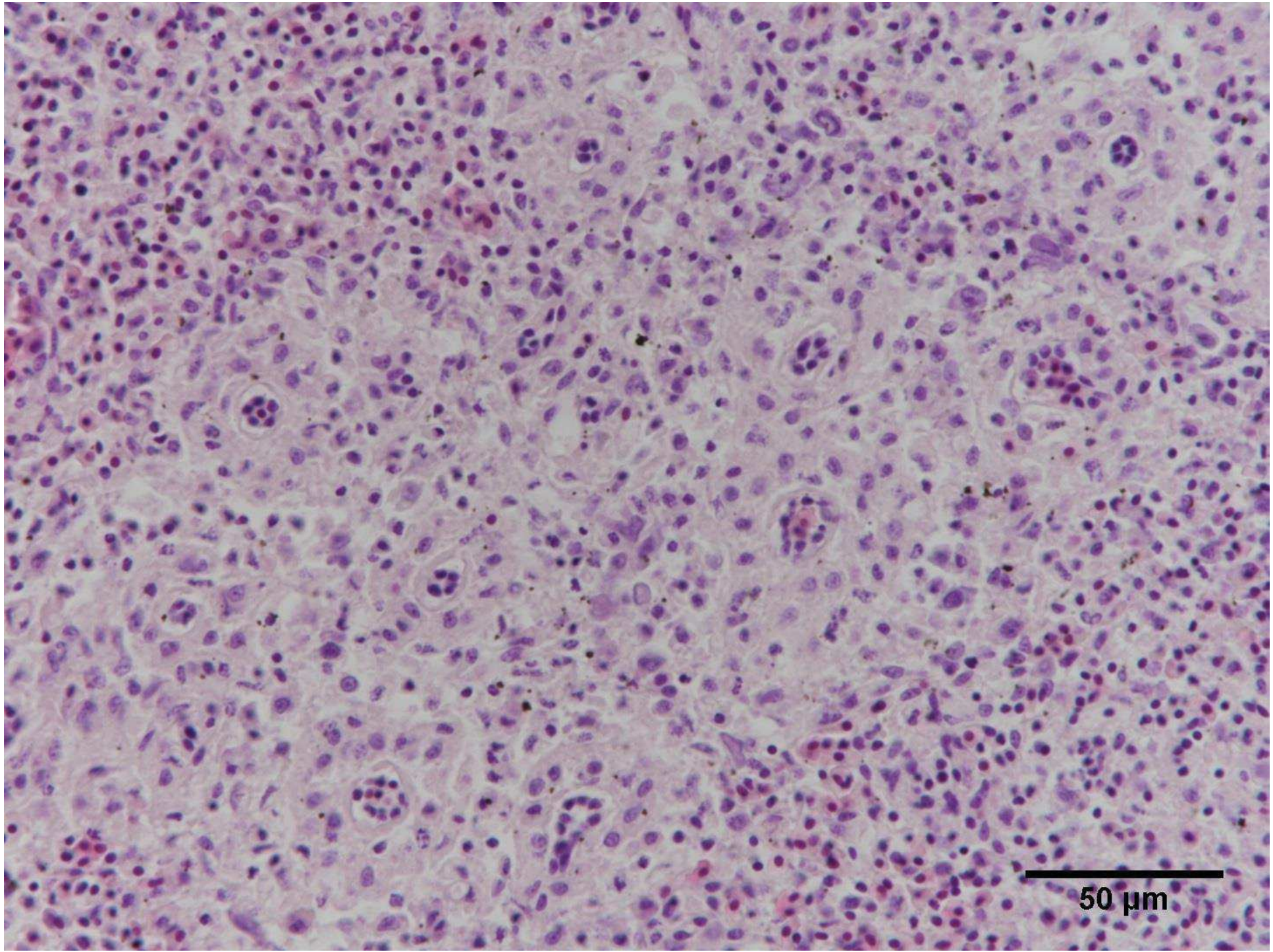


500 μm









50 μm

提出者の診断：

壊死性脾炎：急性、多発性から癒合性、重度、好塩基性核内封入体を伴った、七面鳥出血性腸炎と一致

Necrotizing splenitis: acute; multifocal to coalescing; severe, with basophilic intranuclear inclusions consistent with a diagnosis of turkey hemorrhagic enteritis.

JPCの診断：

脾臓：脾炎、組織球性、びまん性、重度、リンパ球減少および組織球内の核内ウイルス性封入体を伴う

Spleen: Splenitis, histiocytic, diffuse, severe with lymphoid depletion and intrahistiocytic, intranuclear viral inclusion bodies.

提出者および会議のコメント

THEVについて

アデノウイルス科(5属)

アタアデノウイルス属 (5種) ←産卵低下症候群-1976、爬虫類

アビアデノウイルス属(12種) ←封入体肝炎、アデノウイルス性筋胃びらん

イクタデノウイルス属 (1種)

マストアデノウイルス属(27種)

シアデノウイルス属(2種) ←THEV、カエルのアデノウイルス

- 4週齢以上（6-11週齢）で発症、死亡率6割
- 沈鬱、血様便、脾腫
- 経口からの水平感染、脾臓で急速に増殖する。
- マクロファージやIgM産生性Bリンパ球が標的細胞

類症鑑別：

新生物、細菌感染 (*E. coli*, *P. multocida*, *E. rhusiopathiae*)